

次世代育成支援対策後期行動計画修正案に係る意見書のまとめ【木暮委員】

資料名	指摘箇所
資料1 次世代育成支援対策後期行動計画修正案	P.1 基本理念「子どもと親のウェルビーイングの促進」
ご意見等	
<p>基本理念として「子どもと親のウェルビーイングの促進」を削除すべき。 理由1 人権の尊重、自己実現への取り組みは当然のことであり、本計画の為に特に「ウェルビーイング」という言葉は必要ない上に、計画を理解するのに混乱する。「ウェルビーイング」を使うのであれば、もう少し丁寧な説明をして、和光市行政の大きなテーマとすべきである。 理由2 東京で、有料でかつ有識者のみに限定したセミナーを行った際に和光市の事例として紹介したが笑われた。意味するところが解らないとのことだった。和光市民の殆どが理解していないのではないかと。一度、市民からアンケートを採ってほしい。</p>	
回答・コメント	
<p>基本理念については、第2回策定委員会において、前期計画と同様とするか、それとも新たに定めるのかを検討していただくをお願いしております。策定委員会でご審議いただきたいと思います。本件のみでのアンケートの実施は予定しておりませんが、この後にパブリックコメントを実施しますので、それらの意見も踏まえて、結論を出していきたいと思っております。</p>	

子育て支援関連事業に係る目標値設定資料に係る意見書のまとめ【木暮委員】

資料名	指摘箇所
資料3 子育て支援関連事業に係る目標値設定資料	総論
ご意見等	
人口推計から目標設定まで緻密に計算され見事である。コーホート変化率法について不勉強であった。	
回答・コメント	
<p>ご意見をありがとうございました。 【参考】コーホート法 コーホートとは、同年（または同期間）に出生した集団のことをいい、コーホート法とはその集団ごとの時間変化を軸に人口の変化を捉える方法をいいます。「コーホート変化率法」と「コーホート要因法」があります。 採用した「コーホート変化率法」は、2時点におけるコーホートの変化率を用いて推計していきます。今回は平成17年国勢調査と平成12年国勢調査の結果を使用しました。その人口集団を年次的に追跡し、集団の軌跡の変化量・変化率を用いて人口を推計していくこととなります。この推計方法は、世界人口推計をはじめ、国立社会保障・人口問題研究所でも用いられる等、中長期的な推計に適しています。 一方、「コーホート要因法」とは、各コーホートについて、「自然増減」（出生と死亡）及び「純移動」（転出入）という二つの「人口変動要因」それぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する方法です。</p>	